

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市民参画・協働

事業名	新年互礼会事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図ること。
(事業概要等)
市内の企業、団体の関係者等を招き、新年の挨拶を行った後、親睦を深めるとともに、今後の市政への協力を仰ぎ、意見・情報交換を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	322	342	0	380	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
新年互礼会参加者数	人	約300	約300	-	約300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催できなかったため、成果はない。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	限られた予算のなかで、会場設営などの見直しを行い、事業費の削減を行ってきた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍により、令和2年度の開催は中止となった。今後、開催方法などについて、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 様々な方が出席し、親睦を深め、意見・情報交換を行うことにより、市政への理解や協力を得ることができ、本市への発展に繋がると思われる。そのため、参加者同士の懇談時間を長く設けるなど、更に活発な意見・情報交換の場を提供していくが、コロナ禍により、開催方法の検討が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	令和2年度について、新型コロナウイルス感染症のため中止した。 令和3年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況のみて開催について判断する。 開催の際、感染症対策として、新しい生活様式に即した会場設営・運営が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	①市民参画・協働	1	市制への市民参画推進

事業名	有功者表彰事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
永年、市の行政、教育、文化、産業および社会福祉などの増進その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して市民とともに表彰し、功績を称えること。
(事業概要等)
毎年、文化の日(11月3日)に表彰状、有功章および記念品を送り、表彰式典を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	695	685	475	1,130	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
有功者表彰式典開催数	回	1	1	1	1
新たな有功者	人	3	5	5	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
永年、市に貢献された方々を市民とともに祝い、行政と市民の距離を縮めることにより、親睦が深まり、様々な意見交換がなされるようになった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成21年度より参加負担金を徴収している。 祝賀会で食事を提供する際に、仕出屋にテクスピア大阪まで配達してもらっていたが、食中毒等の衛生面を考慮し、令和2年度よりホテル開催に変更した。ホテルで調理から提供まで行うことで、安全に食事を提供する。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍により、令和2年度は規模を縮小して開催した。今後、開催規模・方法などについて検討する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式であり、今後も継続して行うが、コロナ禍により、開催方法の検討が必要である。
改革・改善策等の具体的な内容	令和2年度について、コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して実施した。約100人来ていた招待者も約20人に制限し、飲食を伴う祝賀会は中止した。 令和3年度に関しては、コロナウイルス感染症の状況のみで開催規模を判断する。 開催の際、感染症対策として、新しい生活様式に即した会場設営・運営が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化芸術スポーツ活動の支援

事業名	文化フォーラム事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市文化振興条例に基づいて策定された泉大津市文化芸術振興計画を推進し、市民の文化芸術に対する関心と造詣を深めるため、また、市外の人に本市の取組を知ってもらい、泉大津市のイメージアップを図るために行う。

(事業概要等)

著名な作家や研究者などを講師に招き、講演会を開催。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,186	2,796	319	0	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
実施回数	回	5	4	0	-
来場者数	人	1,350	1,046	0	-
来場者の満足度(満足、どちらかといえば満足と回答した割合)	%	89	97	-	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
年4回実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	本事業は、泉大津市のイメージアップ(シティプロモーション)の側面もあるが、主たる目的は文化芸術の振興である。このことから、秘書広報課で行っていくことが適切かどうか検討するとともに、コロナ禍における事業実施の在り方も検討する必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの形での実施が困難なこと、10年間の実施の中で文化芸術の振興とシティプロモーションという所期の2つの目的を果たしたと考えられることから廃止とする。
改革・改善策等の具体的内容	ウィズコロナ・アフターコロナの時代に即した「オンライン」でのセミナーを実施する(広報活動事業に移管)。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域ブランドの活用と確立

事業名	マスコットキャラクター運営事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市のマスコットキャラクターを作成し様々な場で活用することで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティセールス(地域PR)を図る。
(事業概要等)
市制施行70周年を機に市マスコットキャラクター「おづみん」を募集・制作し、イラストやグッズによるPRのほか、着ぐるみによる各種イベント、メディアへの出演により、広くシティプロモーションを図った。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,670	2,912	1,151	3,524	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
イラスト使用承認件数(一般向け)	件	24	36	15	25
着ぐるみ参加イベント数	件	94	77	19	25
着ぐるみ貸出件数(一般向け)	件	37	26	5	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントにおいて活用することで、市民の郷土愛の醸成に大きく寄与している。また、「おづみんTwitter」の開設により、市内外を問わず、広く本市のシティセールス(地域PR)を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	着ぐるみ活動について、一部民間委託を行った。(平成27年7月) 『おづみんTwitter』を開始した。(平成28年8月)
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催が激減、またグッズの出張販売の機会の減少により、おづみんの露出が減少している。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) コロナ禍において、どのようにシティセールスを行うかを検討する必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	イベント開催が不透明であることから、積極的にTwitterを活用することにより「おづみん」の認知度をアップするとともに泉大津市のPRを行っていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	2	歳入の確保

事業名	泉大津市ふるさと応援寄付事業	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と、地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。
(事業概要等)
泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に対し、謝礼としてふるさと産品を進呈する。企業に働きかけ、ふるさと産品を充実させるとともに、ポータルサイトの活用などにより寄附の促進を図る。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	55,989	196,466	265,205	374,667	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
寄附金額	千円	170,842	462,243	586,934	800,000
寄附件数	件	2,155	14,372	17,312	30,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
お礼品の数の増加やサイズ・色のバリエーションを充実させたこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅時間が増え、ふるさと納税制度への関心が高まったことにより前年と比較し、寄附金額及び件数は大きく上回る結果となった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和元年度からポータルサイトを1つから4つに拡充し寄附者の利便性を高めた。令和2年度からは、ワンストップ特例申請書の受付業務の一部を外部委託することにより、職員の時間外勤務の圧縮を図り、負担軽減に努めた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	返礼品の多くが毛布やニット製品であり、これらの製品の購入サイクルは比較的長い。そのため他自治体と比較してリピーターは少ないと感じている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 寄附金が各事業の財源となっていることから、更なる寄附額増加のための取り組みが必要である。
改革・改善策等の具体的内容	新たなポータルサイトの拡充、毛布やニット製品以外の返礼品を充実させることにより、新規の寄附者を獲得するとともにリピーターを増やし、寄附金確保に努める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報活動事業	担当課名	秘書広報課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を公開することで行政の透明化を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ホームページやフェイスブックなどSNSの新規ページ作成や既存ページの更新を行い、情報提供の充実を図るとともに、市の魅力を発信していく。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,663	7,295	5,054	10,223	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
ホームページのアクセス数	回	967,948	1,175,388	2,729,111	3,000,000
フェイスブックのいいねの数	件	1,471	1,827	2,065	2,300
LINEのお友だちの数	件	—	3,867	7,847	15,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
SNSなどを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供できている。また、災害情報やコロナ関連情報を迅速に通知ができていることから市民の利便性の向上が図られている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成28年度には、ツイッターによる情報発信を開始。また、泉大津駅改札付近に市の情報発信コーナーを設けた。平成30年度はInstagram、令和元年度にはLINEを導入し、市の魅力の新たな発信ツールとして活用している。令和2年度には市庁舎屋上にデジタルサイネージを設置し、コロナ関連情報や市PR動画を流し、情報の発信を行っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	1人でも多くの人に情報を届ける、また必要な情報を必要としている人に確実に届けられるよう、常に検討していく必要がある。特に、LINEなどのSNSなどの情報を受け取ることができない人に対して、どのようにスピーディーに情報を伝えるか検討が必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	(左記評価の理由) B 改善し継続 広報活動は、市民サービスの向上には必要不可欠な事業であることから、今後も、引き続き情報を確実に届けられるよう努めていく。
改革・改善策等の具体的内容	他自治体での広報の方法を参考に、本市にあった情報伝達の手段を検討していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	②市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報紙発行事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報・イベントなどの情報を市民へ提供することを目的とする。
(事業概要等)
毎月31,000部発行し、自治会配布のほかポスティングにより全戸へ配布。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	15,625	14,724	14,379	17,728	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
広報紙配布実数	部(月)	30,865	30,612	30,194	30,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自治会未加入者への個別配布数も増えてきているとともに、公共施設、市内にある公共交通機関の駅、コンビニ、スーパーなどにも配架し、多くの市民に広報紙がいきわたるようになってきている。また、ホームページにも掲載することにより、手軽に見ることができる環境整備も行っている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成30年度から市民レポーター制度を導入し、取材や記事づくりにも市民の力を取り入れ、市民にとってより身近な広報紙となるよう努めている。また、令和2年10月からはLINEを活用したアンケートを実施し、若者から高齢者までの幅広い意見をもとに、見やすくわかりやすい紙面づくりに努めている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市民が必要としている情報を限られた紙面でいかにうまく掲載し、見てもらえるかが重要。また、広報紙の作成から配布までのすべての業務を職員が担っていることから負担が大きくなっている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 見やすく、わかりやすい広報紙を念頭に、その時勢にあわせた紙面づくりを心がける必要がある。 また、広報紙の作成から配布に係る作業をどう効率化するかを検討する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	LINEアンケートでいただいた意見・要望には注視し、読者の方が何を求めているのかの把握に努め紙面づくりに反映していく。広報紙の作成及び配布については、他自治体の発行業務を参考に委託が可能かどうかの検討を行う。	